資料２

介護予防と生活支援の語らん場における課題の抽出　　（第2層生活支援コーディネーター　令和4年度活動計画書より抜粋）

圏域	中央部			北部				西部			
語らん場	諫早小学校区	北諫早中学校区	上山地区	西諫早小学校区	本野地区	中央西地区	西諫早地区	喜々津地区	真津山小学校区	多良見西地区	飯盛地域
住民が目指す地域像	地域組織が幅広く随時の助け合いを行っている地域			誰でも、いつでも気軽に集まる場があり、日常的な助け合いのある地域				誰でも、いつでも気軽に集える場があり、日常的な助け合いのある地域			
	誰でも、いつでも気軽に集える場があり、日常的な助け合いのある地域			地域組織が幅広く随時の助け合いを行っている地域				地域組織が幅広く随時の助け合いを行っている地域			
住民の考える地域課題	**コロナ禍で地域活動が休止している**	**コロナ禍で引きこもり、引き出す方法が分からない**	**若い世代の担い手を作れない**	**リーダー、協力者の育成や探し方が難しい**	**地域の役を担う人が偏り、一部の人に負担がかかっている**	**地域活動に参加していない人の見守りが難しい**	**地域活動のリーダーを探すのが難しい**	**男性高齢者を地域やグループ活動に誘う工夫が必要**	**既存団体の活動が低迷、マンネリ化**	**行事や集いの場の減少**	**免許返納後の移動手段がなく地域参加や受診などの支障がある**
		取り組みは始まったが動きが広がらない	何から取り組めばよいのか分からない	**介護予防の集いの場がマンネリ化**	いかに元気な高齢者をふやすか	複雑な世帯がふえており地域活動への促しが必要	近所の支援を望まない人がいる	**地域住民の認知症の理解が不足**	高齢化率の低い自治会の２０２５年問題への関心が低い	ミカン農家が多く高齢者問題への協議は後回しになる	**サロンや老人クラブ等世話人の後継者育成が難しい**
		助け合いの具体的方法がわからない	町全体で考える機会を作れない	無償の生活支援になじまない				一人暮らしの高齢者の見守りと生活面のフォロー	コロナ禍で対面会議が無く、新しい取り組みの検討が出来ない	山間地域で高齢者の移動手段がない	独居高齢者の見守りや災害時の対応が難しい
		語らん場参加者を町全体に広げたい	民生委員など人材不足					免許返納後の移動、外出手段の検討		少子高齢化で自治会の財源に不安。他社協との合併を希望	
		公民館での活動に誘い込み方が分からない	支援の必要がわかっても対応できるか分からない					コロナ禍で遠方家族の対応が出来ず、住民への負担が増えている			

圏域	南部				東部		
語らん場	森山地域	有喜地区	小野地区	小栗地区	小長井地域	高来地域	長田地区
住民が目指す地域像	誰でも、いつでも気軽に集える場があり、日常的な助け合いのある地域				地域組織が幅広く随時の助け合いを行っている地域		
	地域組織が幅広く随時の助け合いを行っている地域				誰でもいつでも気軽に集える場があり、日常的な助け合いのある地域		
住民の考える地域課題	**集いの場を作りたいがコロナ禍でなかなか進まない**	**介護予防や生活支援について地域住民が良く知らない**	**坂道が多く、閉じこもりになってしまう**	**栗面県住では集いの場がなく必要**	アンケート結果から支援の仕組みや、ボランティア活動の進め方の検討が必要	**介護予防を続けたいが世話人がいない。自主的に続ける負担感が強い**	**活動をしたいが立ち上げに負担がかかり踏み出せない**
	サロンの世話人の後継者がいない	地域ごとに課題が違うので同じことができない	何でも車移動で車がないと不便		免許返納後の買い物難民や通院など移動が問題	**サロンの担い手後継者問題**	**自治会に負担がかからない活動をしたい**
			子どもが少なく浮流などの継承が難しい			語らん場に自治会長が参加しない	**始めるには協力者がたりない**
							持続可能な組織を作りたいが人材不足
							見守りが難しい